



2023年4月14日

各位

会社名 株式会社 チョダ
代表者名 代表取締役社長 町野 雅俊
(コード番号 8185 東証プライム市場)
問合せ先 取締役企画財務本部長 井上 裕一郎
(TEL. 03-5335-4134)

2023年2月期業績予想(連結・個別)と実績値との差異、
棚卸評価損の計上及び特別損失の計上に関するお知らせ

2022年10月12日に公表しました2023年2月期通期業績予想(連結・個別)と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせします。

1、通期業績予想と実績値との差異

(1) 連結

2023年2月期通期連結業績予想と実績との差異(2022年3月1日~2023年2月28日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	93,100	△1,600	△1,400	△2,250	△64.17
実績値(B)	92,119	△2,234	△1,942	△2,602	△74.23
増減額(B-A)	△981	△634	△542	△352	—
増減率(%)	△1.1	—	—	—	—
(ご参考)前期通期実績 (2022年2月期)	88,651	△4,387	△3,822	△3,980	△112.16

(2) 個別

2023年2月期通期個別業績予想と実績との差異(2022年3月1日~2023年2月28日)

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
前回発表予想(A)	74,000	△950	△1,650	△47.06
実績値(B)	73,606	△1,298	△1,892	△53.97
増減額(B-A)	△394	△348	△242	—
増減率(%)	△0.5	—	—	—
(ご参考)前期通期実績 (2022年2月期)	70,496	△2,993	△3,216	△90.61

2、差異の理由

個別業績につきましては、売上高は概ね計画通りに推移したものの、円安などによる仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁しきれず、また、棚卸資産評価損の計上額も想定を上回ったため、売上高総利益率が計画を0.7pt下回り、それにより営業利益が5億円以上押し下げられ、業績予想数値と実績値との差異が発生いたしました。

連結業績は、個別業績に加え、衣料品事業において、秋冬物商品の立ち上がりの時期に気温が高かったことなどで、売上が低調に推移し、売上が計画を6億円下回り、また、秋冬商品の消化促進のための値下げの影響により、粗利率も計画を下回って推移し、業績予想数値と実績値との差異が発生いたしました。

3、棚卸資産評価損の計上

店舗の商品鮮度の向上を目的として、仕入から一定の期間を超える商品を滞留在庫として、直近の販売実績に照らした販売可能性及び滞留在庫の判定を行った結果、棚卸資産評価損を2023年2月期（累計期間）において、連結1,401百万円、個別1,238百万円を売上原価に計上いたしました。

4、特別損失の計上

固定資産及び店舗等に係る固定資産の一部において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失や退店に伴う損失など特別損失を2023年2月期（累計期間）において、連結806百万円、個別491百万円計上いたしました。

以上